

令和6年度 全国中学校体育大会  
**第46回 全国中学校軟式野球大会**  
 「～君の憧れ 君の努力 その全てを北信越に～」



【2回戦】学校法人別府大学明豊中学校(九州：大分県) 対 勝山クラブ(開催地：福井県)

**福田投手7回無失点！明豊中が準々決勝へ進出！**  
 勝山クラブ 好守好投で抑えるも、相手投手を打ち崩せず

【令和6年8月20日(火) 敦賀市総合運動公園野球場 第3試合】

試合開始 14:05 試合終了 15:23 試合時間 1時間11分(中断7分)

チーム名		1	2	3	4	5	6	7						計
明豊中	大分県	0	0	0	1	0	0	0						1
勝山クラブ	福井県	0	0	0	0	0	0	0						0

球 審 [稲田] 塁審(一) [今井] 塁審(二) [須山] 塁審(三) [山下]  
 ◆バッテリー ◆二塁打 西山、三浦、小野(明)  
 (明) 福田一郷司 ◆三塁打  
 (勝) 石川惇一岡田 ◆本塁打

【試合経過】

1回表、明豊中は4番西山さんが左前二塁打を打ちチャンスをつくるも後続を打ちとり無失点。2回表、7番小野さんが初球から打って中二塁打を放つも得点には繋がらず。その後も、勝山クラブ石川(惇)さん、明豊中福田さん両投手のテンポの良い投球が続く、無得点のまま試合は進んでいく。試合が動いたのは4回表、6番三浦さんが中前二塁打で出塁、続く打者も出塁し二死一二塁のチャンスをつくる。8番藤木さんが左適時打を打ち二塁走者が生還、明豊中が先制点を挙げる。これが決勝点となった。その後は、両チーム投手の安定したピッチングと固い守備で得点を許さず、スコアボードに0が並ぶ。このまま試合終了となり、明豊中が準々決勝に駒を進めた。



【固い守備で追加点を防ぐ勝山クラブ】



【7回無失点で抑えた福田投手】

明豊中 監督談話

勝山クラブの石川さんが丁寧な投球だったので、ものすごく手こずりました。とても良い投手だったので、1点勝負になるとイメージをしていたのですが、勝つことができ良かったです。勝山クラブは、守り勝つチームというイメージでした。九州代表の2校の応援のお陰もあって、あの1本が出たのかなと思います。

勝山クラブ 監督談話

辛抱強く守っていましたが、相手にはチャンスはくれませんでした。相手チームはピッチャーの福田さんが良かったですし、ピッチャーを中心に走塁も守備が無いですし、全員がしっかり守ってくるチームでした。福井の代表としてしっかりと戦えて良かったです。

明豊中	打数	得点	安打	打点	三振	四死	犠打	盗塁
④ 古庄 倫大	4	0	0	0	1	0	0	0
⑧ 黒仁田翔和	4	0	2	0	0	0	0	0
② 郷司 遥哉	3	0	0	0	0	0	0	0
⑤ 西山 陸翔	3	0	2	0	0	0	0	0
① 福田 蒼輔	3	0	0	0	0	0	0	0
③ 三浦 大雅	3	1	2	0	0	0	0	0
⑨ 小野 栞佑	2	0	1	0	0	1	0	0
⑦ 藤木日向朗	3	0	1	1	1	0	0	0
⑥ 増本 大成	3	0	0	0	0	0	0	0
計	28	1	8	1	2	1	0	0

勝山クラブ	打数	得点	安打	打点	三振	四死	犠打	盗塁
⑧ 笠松 煌己	3	0	0	0	1	0	0	0
⑥ 錦織 琉聖	3	0	0	0	1	0	0	0
③ 増田 太陽	3	0	0	0	2	0	0	0
② 岡田 旺大	2	0	0	0	2	0	0	0
① 石川 惇大	2	0	0	0	2	0	0	0
⑦ 森下 信佑	2	0	0	0	1	0	0	0
⑤ 石川 創大	2	0	0	0	0	0	0	0
⑨ 前川 煌成	2	0	1	0	0	0	0	0
④ 石川 祐大	2	0	0	0	2	0	0	0
計	21	0	1	0	11	0	0	0

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	三振	四死	失点
福田 蒼輔	7回	21	84	1	11	0	0

投手氏名	回数	打者	投球数	安打	三振	四死	失点
石川 惇大	7回	29	85	8	2	1	1

